

令和5年度中学生海外体験学習事業報告

市は、9月24日から10月1日まで、2024年4月に姉妹都市提携30周年を迎える姉妹都市ディニー・レ・バン市など（フランス）に、市内中学生6名を派遣し、海外体験学習事業を実施しました。

復興支援の感謝の発信

9月26日・27日

当市は、震災時にディニー・レ・バン市やロクシタン社から多くの支援をいただきました。生徒



アマチュアラグビーの練習会場で
ル・プリュスケ村長から記念品を受け取りました

フランスの児童たちは、自分のシャツや靴に日本語でサインを求めるなど大歓迎の様子で、生徒たちもその勢いに圧倒されていました。生徒たちにとって、自分たちの文化が海外では「外国の文化」であることを実感した時間となりました。

私たちは市内のマリア・ボレリ中学校やロクシタン社を訪問し、自分たちで考えた「復興支援への感謝のメッセージ」を一人ひとりが英語でスピーチ。心打たれるメッセージだったとの称賛をいただきました。

フランスの小学生との交流

9月28日

ディニー・レ・バン市近隣のル・プリュスケ村にあるマルセル・ルー小学校の児童に、交流のある平田小学校からのメッセージ入りのペナントを届けました。

ました。

いわて釜石ラグビーフットボールクラブの応援

9月28日

第一回ワールドアマチュアラグビーフェスティバルに出場している、いわて釜石ラグビーフットボールクラブを、マルセル・ルー小学校の児童と一緒に応援しました。

会場は、岩手・釜石チームへの「Japoni Japoni（日本！）」の大声援に包まれていました。

残念ながら試合は負けてしまいましたが、国境という垣根を越えて一丸となってチームを応援する貴重な機会となりました。

ラグビーワールドカップ2023の観戦

9月28日

トゥールーズ市にて開催された日本対サモア戦を観戦しました。試合開始とともに響き渡る割れんばかりの歓声や、スタジアムを覆う熱気、選手同士がぶつかり合う迫力を感じ、生徒たちも日本代表に大きな声援を送りました。日本代表が勝利し、歓喜に包まれる会場の中で、ファンとともに喜びを分かち合いました。多くの生徒が海外に出るのが

初めてということもあり、生徒たちは言葉も文化も異なる環境に不安を隠せず、到着直後のホストファミリーとの顔合わせでは、表情に緊張の色が見てとれました。

しかし、翌朝には、生徒たちは満面の笑みで待ち合わせ場所に現れ、ホストファミリーがいかに暖かく迎え入れてくれたか、片言の英語や身振り手振りで意思疎通を図ったことなどを教えてくれました。言葉がわからなくても国際交流はできるという大きな気づきを得たと思います。

今回の貴重な経験は生徒たちの成長につながるものであり、この経験を糧として、生徒たちが釜石とディニー・レ・バン市や世界をつなぐ架け橋になるなど、グローバルに活躍することが期待されます。

（報告者 国際交流課 主査 東 洋平）



平田小学校からのメッセージを掲げて
応援する子どもたち

釜石市の中学校部活動の 地域移行に向けて

部活動地域移行推進協 議会の開催

少子化に伴い、中学校の部活動の継続の難しさと同時に、生徒の多様なニーズに応じたスポーツ・文化活動に親しむ機会の確保、教員の負担減少が求められ、全国的に部活動の地域移行の検討が行われています。

昨年度、スポーツ庁、文化庁が策定した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」をもとに、釜石市でも、地域移行に向けての検討を進めています。

八月から九月にかけて、中学校の部活動の地域移行や地域連携の在り方を検討する「釜石市中学校部活動地域移行推進協議会」及び、「ワークショップ」を開催しました。さまざまな立場の方に出席いただき、他方面からご意見をいただきました。

今後、さらに課題等について、より具体的な検討を進め、方針を決定していきたいと思います。



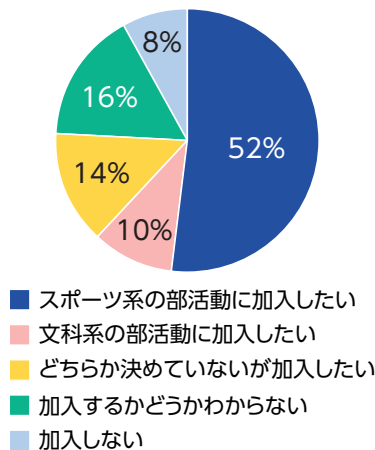
部活動地域移行に関する アンケート結果

部活動の現状と児童生徒、保護者のニーズを把握するために、アンケート調査を実施しました。その結果を抜粋し、紹介します。なお、すべての結果については、釜石市のホームページで公表しておりますので、ご覧ください。

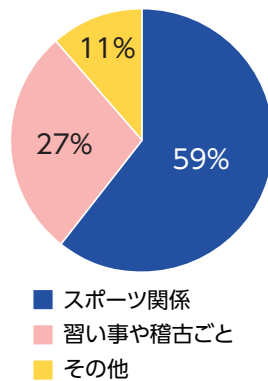
【対象】

- 小学校四年生から六年生
- 全中学生
- 小学四年生から中学三年生までの保護者

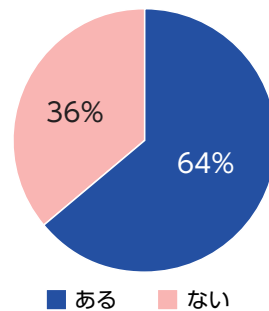
中学校の部活動の
参加希望について



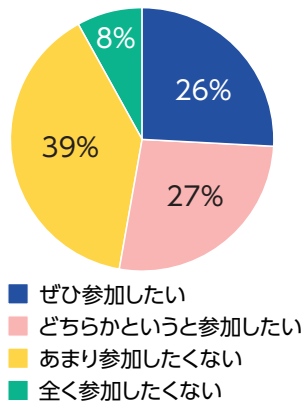
学校外の活動について



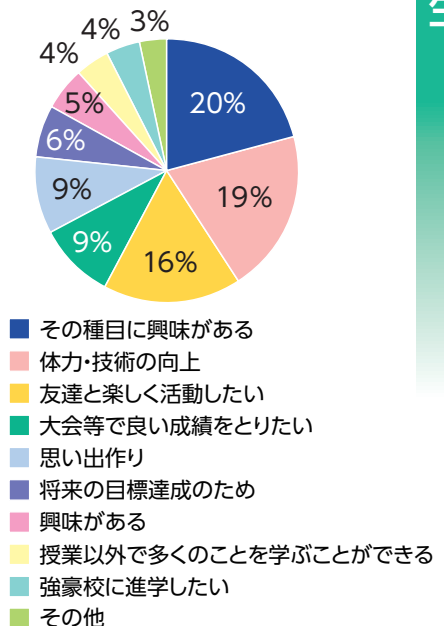
学校外で継続して参加している活動はありますか？



地域移行した場合の
参加希望について



部活動に加入したい理由



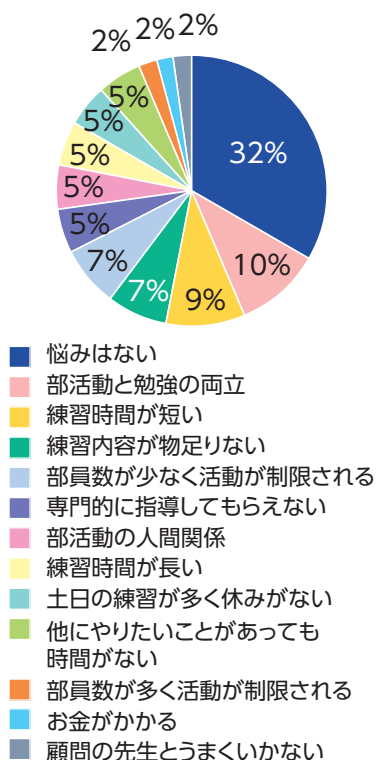
小・中学生の自由記述

- ・専門的な指導者に教えてほしい。
- ・レベルが上がったり、他校との交流も多くなったりし、成長できる。
- ・部活動も友達との思い出作りの一つだし、地域移行してほしい。
- ・地域全体が活性化するのでいい。
- ・練習時間の上限などを決めてほしい。
- ・やりたい活動を生徒に聞いてほしい。
- ・他の人とうまくやっていけるか不安。
- ・部活動は楽しくやりたい。

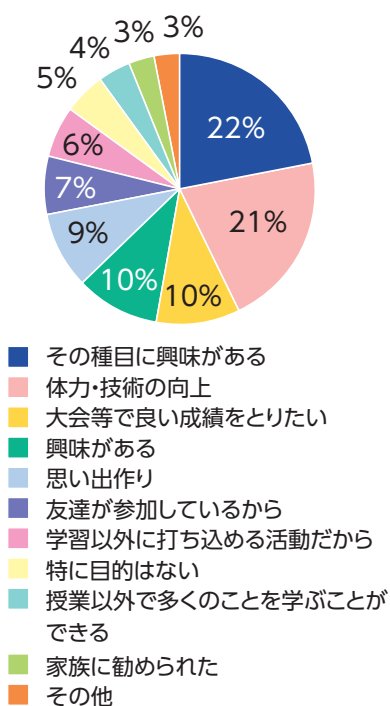


アンケート調査結果・小学生

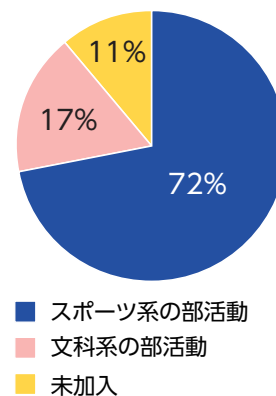
部活動の悩み



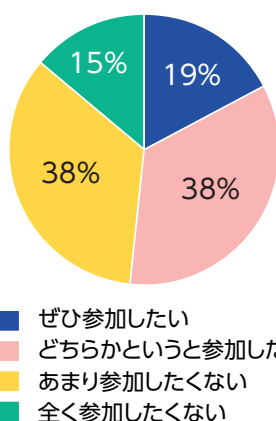
部活動に加入している目的



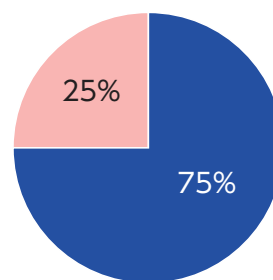
現在の部活動の加入状況



地域移行した場合の参加希望について



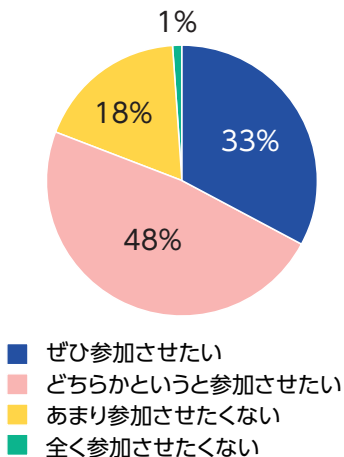
現在の所属について



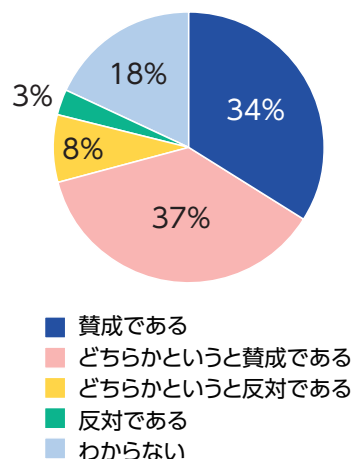
保護者の自由記述

- ・ 選択の幅が広がることで、子供の意識も向上する。
- ・ 部員数が少ないことでチームを組めないこともあるので、できるだけ早く進めるべきである。
- ・ 専門の指導者に指導してもらえることは、子供の活動の充実につながる。
- ・ 親の送迎、金銭的な負担、指導方法の相違等が不安である。
- ・ 釜石で指導者が確保できるのか疑問。
- ・ 土日の部活動自体をなくしてもいいのでは。
- ・ 先生方の負担を減らすことで、学習や生活への指導に力を入れてもらえる。
- ・ 活動場所、指導者への報酬、学校との連携、大会参加の仕方などの課題がたくさんある。

地域移行した場合の参加希望について



地域移行へのご意見



フランス海外体験学習報告



中学生海外体験学習事業を通じて



釜石中学校3年
佐々木 渚 央

私はこの研修を通じて、様々な視点で物事を考え、課題解決に向けて真摯に取り組む力を身に着けるために参加をしました。

研修でする体験は初めてのものが多く、緊張もありましたが、楽しい気持ちがありました。特にホームステイでは沢山の思い出が生まれました。ホストファミリーはみんなとてもフレンドリーで明るく、優しい方たちでした。日本から持って行ったお土産もとてもよろこんでくださって、特にけん玉を気に入ってくれました。年が近かった3人とはすぐに仲良くなれて、たくさんのお話を聞かせてくれました。朝一緒に登校した学校でも友達を紹介してくれて、国境を越えた交流をすることができました。言語は違っても気持ち

ちが通じるんだと実感しました。最後の日の夜は、ホストファミリーと色々な話をしました。みんなが将来の夢について話したとき、「応援している」と言ってくれたことが心に残っています。ホームステイを通じて

積極的に自分の思いを伝えることが大切だと学びました。別れは悲しかったけど、悲しいと思うほど仲良くしてくれて、私たちに貴重な経験をさせて下さったホストファミリーに心から感謝しています。

私はこの研修を通じて改めて世界は広いんだなと実感しました。そして国境を越えた繋がり、絆を感じました。アマチュアラグビーのオーブンングセレモニーの時、どの国の選手たちも楽しそうに生き生きとしていました。この繋がりのおかげで、よい社会をつくること、出来ると思います。私はこの貴重な体験を多くの人に伝えたいです。そして、より多くの人にディズニー・レ・パン市のこと、世界のことに興味を持ってもらいたいです。グローバル化が進む社会でそれぞれがお互いを認め合い、尊重して共存していく社会になるよう

海外体験学習を通して



大平中学校3年
佐藤 威 伸

に、まずは自分が世界を知り、理解を深めていきたいと思います。

今回の海外体験での目標は「広い視野を身につけること」「コミュニケーション能力を高めること」であり、自分の成長を感じた場面は、主にホームステイと現地の中学生との交流でした。

ホームステイ先には、同年代のルイス君と父親がいました。学校の先生をしている母親は、現在アフリカで働いていて二人で家事を分担していました。私は「何か手伝いましょうか？」と英語で尋ねたところ、「特に大丈夫だよ」と言ってくれました。自分の英語が伝わるか不安でしたが、コミュニケーションを取ることで嬉しかったです。その後は、自分から話しかけることを意識し、ルイス君と仲良くなることができました。コミュニケーションをとる際、表情をうまく使うこと、文法を意識しすぎない事等、やってみなければ感じられない多くのことを学びました。

は、日本についてたくさん質問をされました。例えば、「授業中は静かですか？」

「皆、まじめですか？」等、30分以上質問攻めにあいました。逆に、日本に外国の生徒が来た場合、同じように30分も質問が続くでしょうか。彼らの好奇心や積極性に触れ、多くの刺激を受けました。他にも、日本とは異なる「当たり前」に数多く触れたことは、自分の「当たり前」をいい意味で変えてくれる貴重な時間だったと思います。

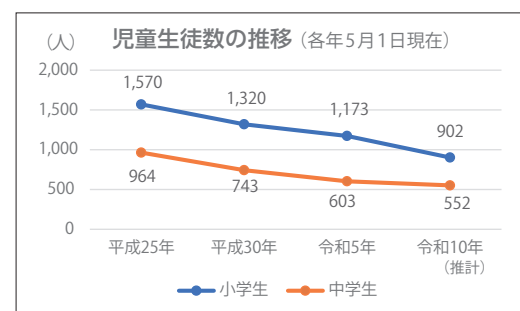
印象に残ったイベントとしては、ラグビーワールドカップの日本対サモア戦の観戦です。間近で選手同士がぶつかり合う迫力、多くのサポーターの歓声、会場を取り巻く熱気は決して忘れられません。また、復興支援の感謝をディズニー・レ・パン市長に伝えることができた、今後も両市の交流が続いてほしいです。

「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」の策定に向けて

釜石市の児童生徒数は年々減少しており、学校の小規模校化が進んでいます。

予定で、年度内の策定を目指しています。

このような背景の下、釜石市学校規模適正化検討委員会は、学校規模等の教育環境をどのように考え整備することが望ましいかについて議論し、令和4年11月に提言をまとめました。



佐々木ひづるさんが教育委員に就任

福成菜穂子さんが、令和5年9月30日をもって、任期満了により教育委員を退任となりました。



佐々木 ひづる 委員

新たに、釜石市議会9月臨時会において、議会の承認を得て市長が令和5年10月1日付けで、佐々木ひづるさんを教育委員に任命しました。

任期は令和9年9月30日までです。